

2007年2月期 中間決算説明会

2006年10月19日



株式会社 メディカルー光

代表取締役社長 南野 利久

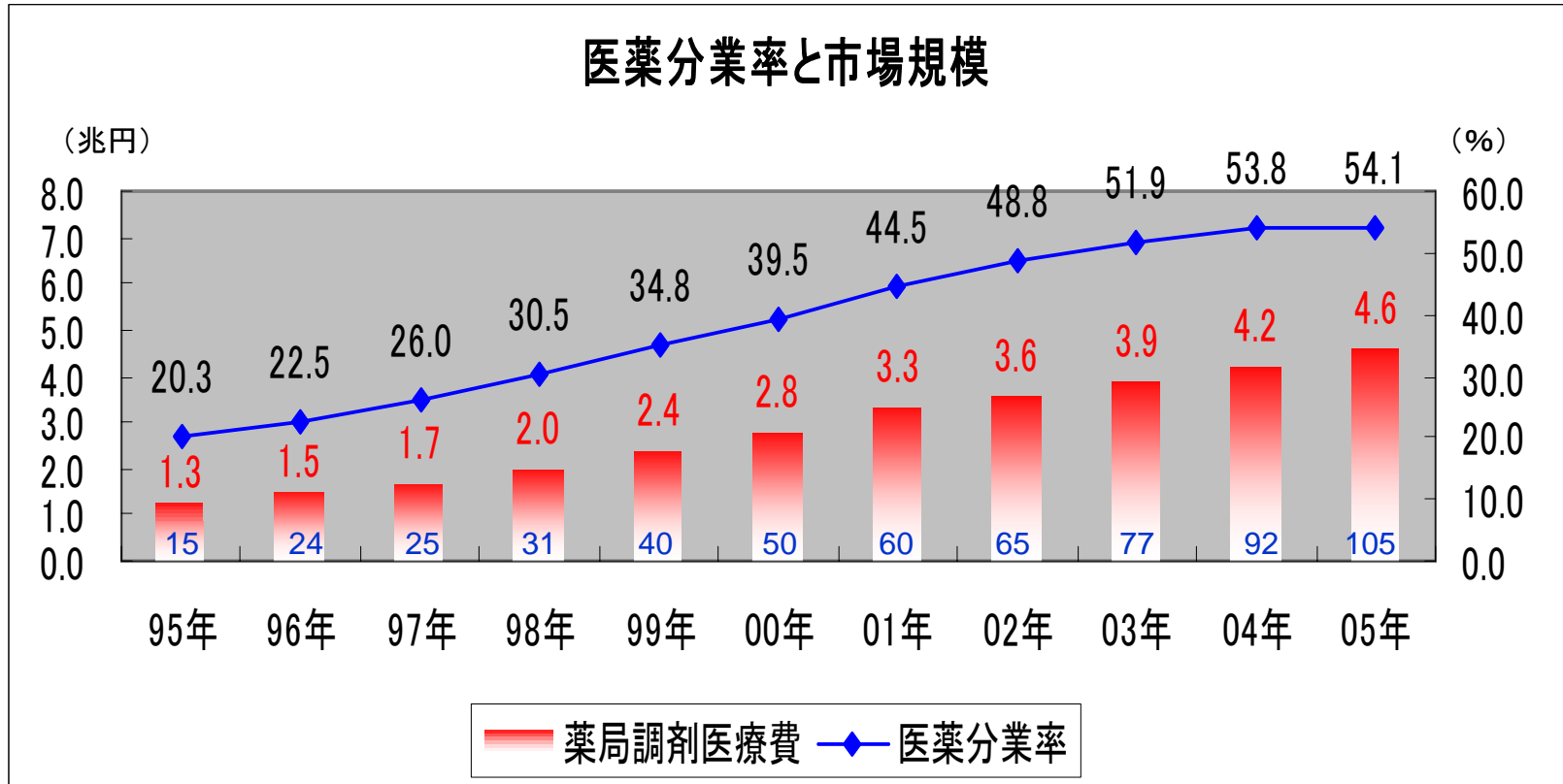
(JASDAQ 証券コード 3353)

I. 2007年2月期中間決算概要

II. 介護事業の強化

III. 2007年2月期中間決算業績詳細

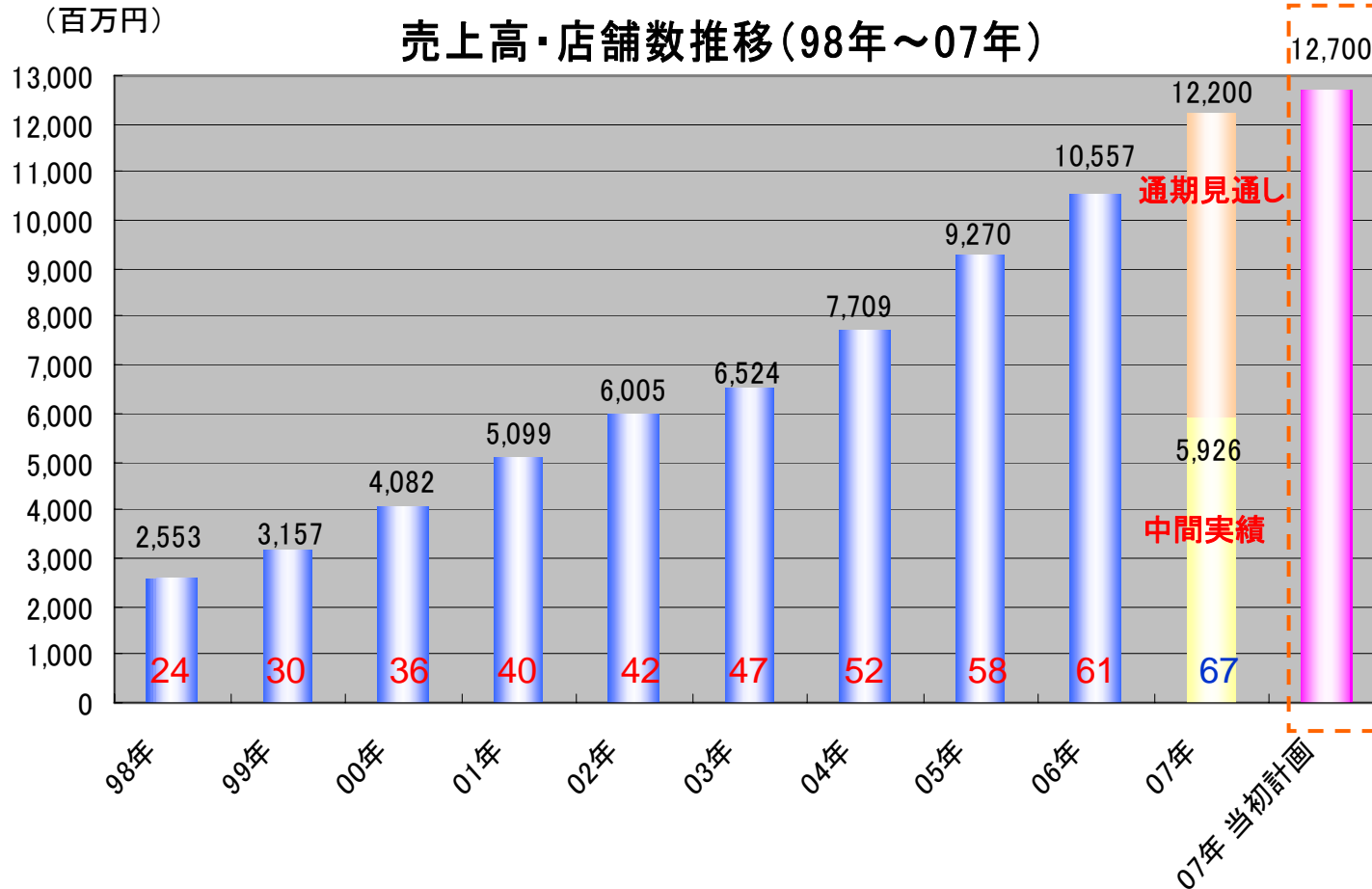
■ 医薬分業率と市場規模



※青字 = 当社売上高 (億円)

(出所: 医薬分業率 = 日本薬剤師会
薬局調剤医療費 = 厚生労働省)

■ 売上高・店舗数の推移



※赤字＝期末店舗数 青字＝2006年8月末現在店舗数(グループ全体)

2007年2月期 中間決算(連結)

◆ 単体決算から連結決算へ (子会社4社、関連会社1社)

- 調剤6店舗増加(新店3店舗・M&A3店舗)、前期比14.1%の増収
- 薬価差益の影響を折り込み、経常利益は減益(計画比はプラス) (単位:百万円)

	05年8月中間期(単体)		06年8月中間期(連結)			
	実績	構成比	実績	構成比	前期比	計画比
売上高	5,190	100.0%	5,926	100.0%	+736	△64
売上原価	4,654	89.7%	5,399	91.1%	+745	△111
売上総利益	536	10.3%	527	8.8%	△9	+45
販管費	327	6.3%	338	5.7%	+11	△27
営業利益	208	4.0%	188	3.1%	△20	+72
経常利益	181	3.5%	150	2.5%	△31	+62
中間純利益	72	1.4%	△11	-	△83	+53

注1) 05年8月中間期は非連結決算

注2) 平安薬局、メデコアは5月以降4ヶ月間を連結算入(06年5月子会社取得)

注3) 減損会計は当中間期で当初計画通り一括適用(減損処理額 126百万)

■ 2007年2月期計画 前年比較(連結)

- 売上増加要因として、06.2期及び07.2期出店店舗が寄与
- 売上総利益の低下及び、減損会計処理等を折り込み

(単位:百万円)

	06年2月期		07年2月期		増 減	
	実績	構成比	計画	構成比	金額	率
売 上 高	10,557	100.0%	12,200	100.0%	+1,643	+15.6%
売 上 原 価	9,490	89.9%	11,122	91.2%	+1,632	+17.1%
売 上 総 利 益	1,067	10.1%	1,079	8.8%	+12	+2.1%
販 管 費	650	6.1%	708	5.8%	+58	+10.4%
営 業 利 益	417	3.9%	370	3.0%	△47	△11.3%
経 常 利 益	366	3.4%	344	2.8%	△22	△6.0%
当 期 純 利 益	176	1.7%	89	0.7%	△87	△49.4%

注) 06年2月期は非連結決算

平安薬局、メデコアは5月以降10ヶ月間を連結算入(06年5月子会社取得)

■ トピックス

1 . M & A (平安薬局・メデコアを子会社化)

2 . 店舗展開の状況

3 . メディカルモールの開業準備

4 . 医薬品卸事業を分社化 (メディシン一光)

5 . 不動産事業

M & A

◆ 平安薬局株式会社および有限会社メデコアを子会社化

- 平成18年4月19日 譲渡契約締結
- 平成18年5月1日 譲受日

(単位:百万円)



平安薬局 小田原店

平安薬局 元町店

平安薬局 二宮店

	07年2月期		08年2月期
売上高	中間実績	通期計画	通期計画
	332	794	850



■ 店舗展開の状況

◆ フLOWER薬局 3店舗を新規開局

フLOWER薬局高槻店



開局:平成18年5月
住所:大阪府高槻市北柳川町
主医療機関:北摂総合病院

フLOWER薬局三国店



開局:平成18年5月
住所:福井県坂井市三国町
主医療機関:坂井市立病院

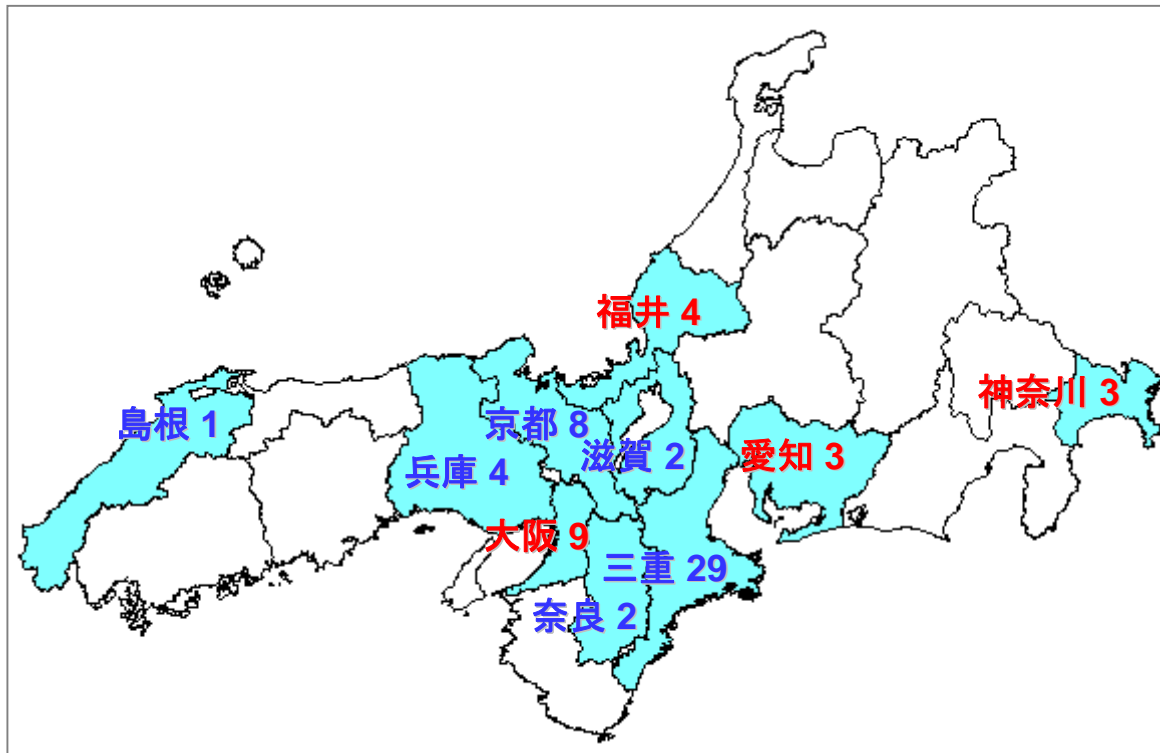
フLOWER薬局太閤店



開局:平成18年7月
住所:愛知県名古屋市中村区
主医療機関:名古屋セントラル病院

■ 店舗展開の状況

◆ 1道2府8県に67店舗を展開（2006年8月31日現在）



【06年8月中間期の出店】

- 5月 M&Aにより3店舗取得（神奈川）
- 5月 フLOWER薬局 高槻店（大阪）
- 5月 フLOWER薬局 三国店（福井）
- 7月 フLOWER薬局 太閤店（愛知）

■ 選ばれる薬局づくり

◆ 医療機関等に関する情報公開（平成19年4月1日～）

- 処方せん応需実績
- 調剤設備の充実（無菌調剤室・自動錠剤分包機）
- 薬歴の電子化
- 外国語対応
- 障害者・高齢者への対応
- 地域住民への啓発活動
- 地域医療連携体制
- クレジットカード払い など

30項目の情報公開が検討されている

■ メディカルモールの開業準備

◆ 11月から順次開業



久居メディカルモールのイメージイラスト

久居メディカルモール 国立前にメディカル一光が

10月完成

全国に調剤薬局や医療関係不動産事業を展開する(株)メディカル一光(本社：津市藤方、南野利久社長)は、建設地は、独立行政法人100%子会社の(株)ヘルスケア一光を事業主体に、この「療センター(旧国立三重中央病院)の北側前、同社経営の久居センター敷地は2101㎡(約637坪)。診療科目は、内科・外科・皮膚科・耳鼻咽喉科・眼科・歯科などを予定。当面3医院の開業をめざし

既に内科・外科については確定している。完成予定は今年10月。

更にメディカルモール北隣接地約3000㎡に有料老人ホームの建設を計画、年内着工をめざしている。付近一帯は久居インターを軸とした交通利便性の良さから、ジャスコ久居店はじめ路面店も多く久居地区随一の商業集積地。地元久居や一志地区だけでなく、伊勢・東紀州方面からの買い物客もあり、三重中央医療センターとの相乗効果も高い。この利便性に着目したのが今回の開発。

南野社長は「メディカルのモールと有料老人ホームを組み合わせることで、ホーム入居者の安心感を高めることができる。今後、新しい一つのビジネスモデルとして展開できればと考えている」と意欲的だ。

同メディカルモール等への問い合わせは059・226・1103(内線)。

2006年7月6日

掲載



三重中央医療センター



久居メディカルモール

■ メディカルモールの開業準備

メディカルモールに
隣接する調剤薬局
(久居センター薬局)



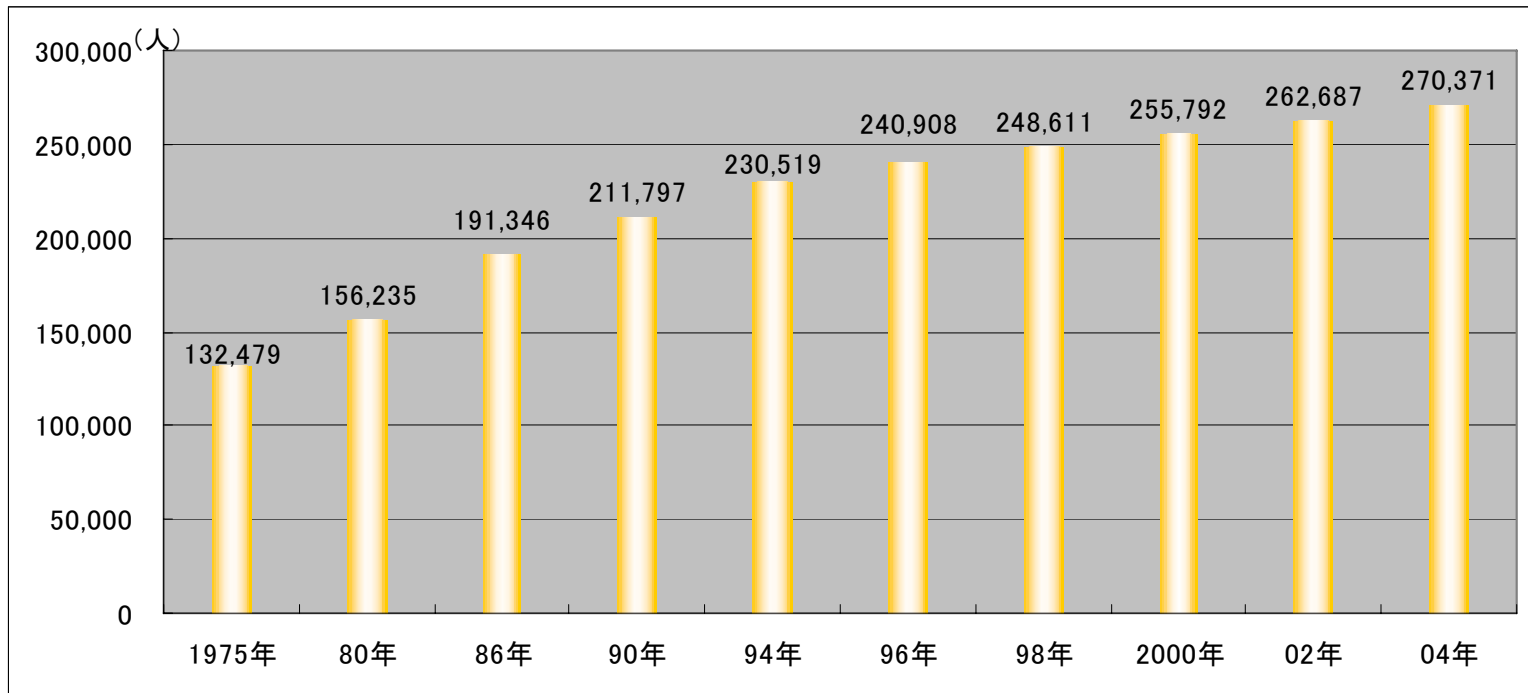
11月開院 胃腸科・内科・外科・乳腺科



平成19年2月開院(予定) 精神科・神経内科

■ 医師の推移(総数)

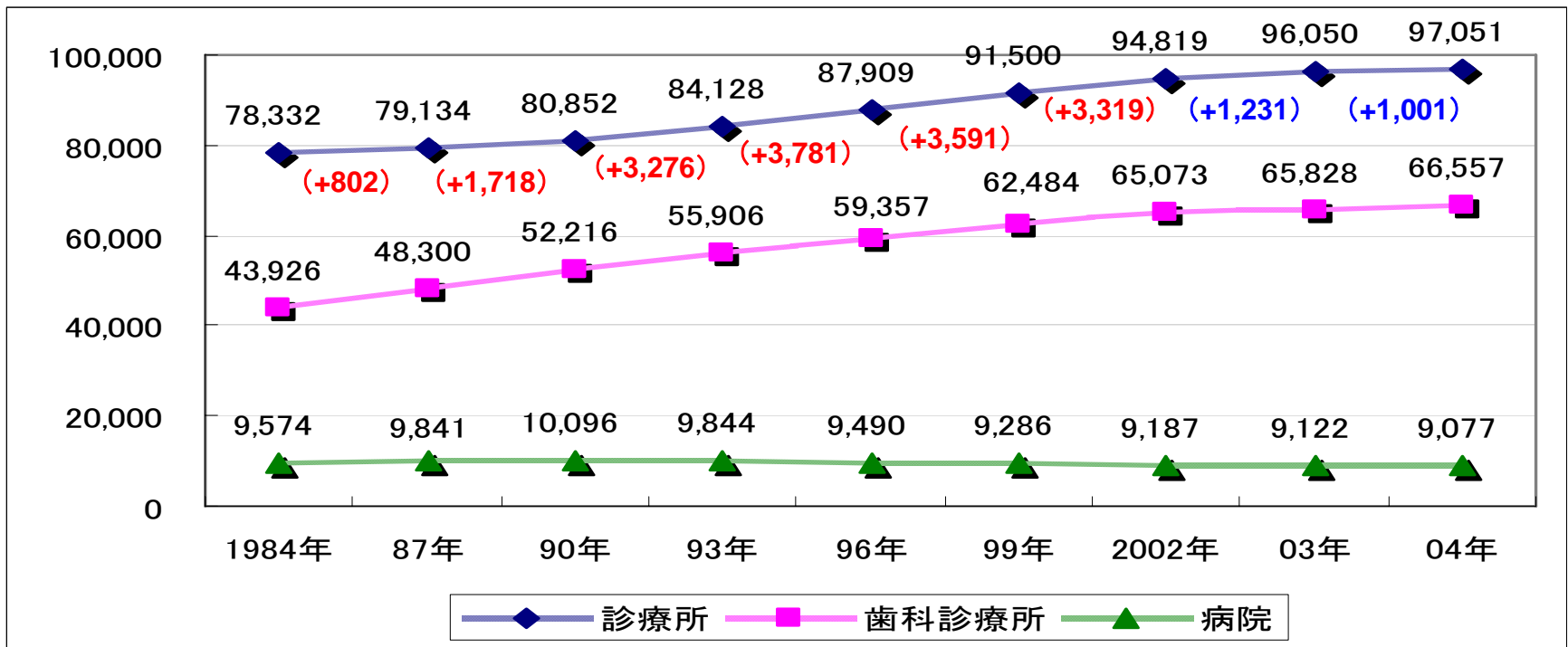
◆ 30年間で医師数は倍増



(出所:厚生労働省)

医療施設数の推移

◆開業（診療所・歯科診療所）の増加



(出所:厚生労働省)

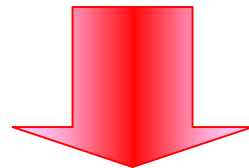
■ ジェネリックに特化した医薬品卸事業

◆ ジェネリックに特化したメディシン一光を設立

中部圏の医療機関を中心にジェネリック医薬品を販売



医療制度改革の一つとして**後発医薬品(ジェネリック医薬品)の使用促進策**が明確化 (平成18年4月～処方せん様式の変更)



市場拡大

売上高前年比 **23%増**

■ 不動産事業

◆ 遊休地の活用（ホテル賃貸）

【概要】

賃貸先	ルートインジャパン(株)
建物構造	鉄筋コンクリート造 10階建
延床面積	1,951.16㎡
部屋数	シングルルーム78室
その他	立体駐車場付

【スケジュール】

時期	予定
平成18年12月末	建物竣工
平成19年1月	完了検査 ホテル営業許可
平成19年2月1日	建物賃貸借開始



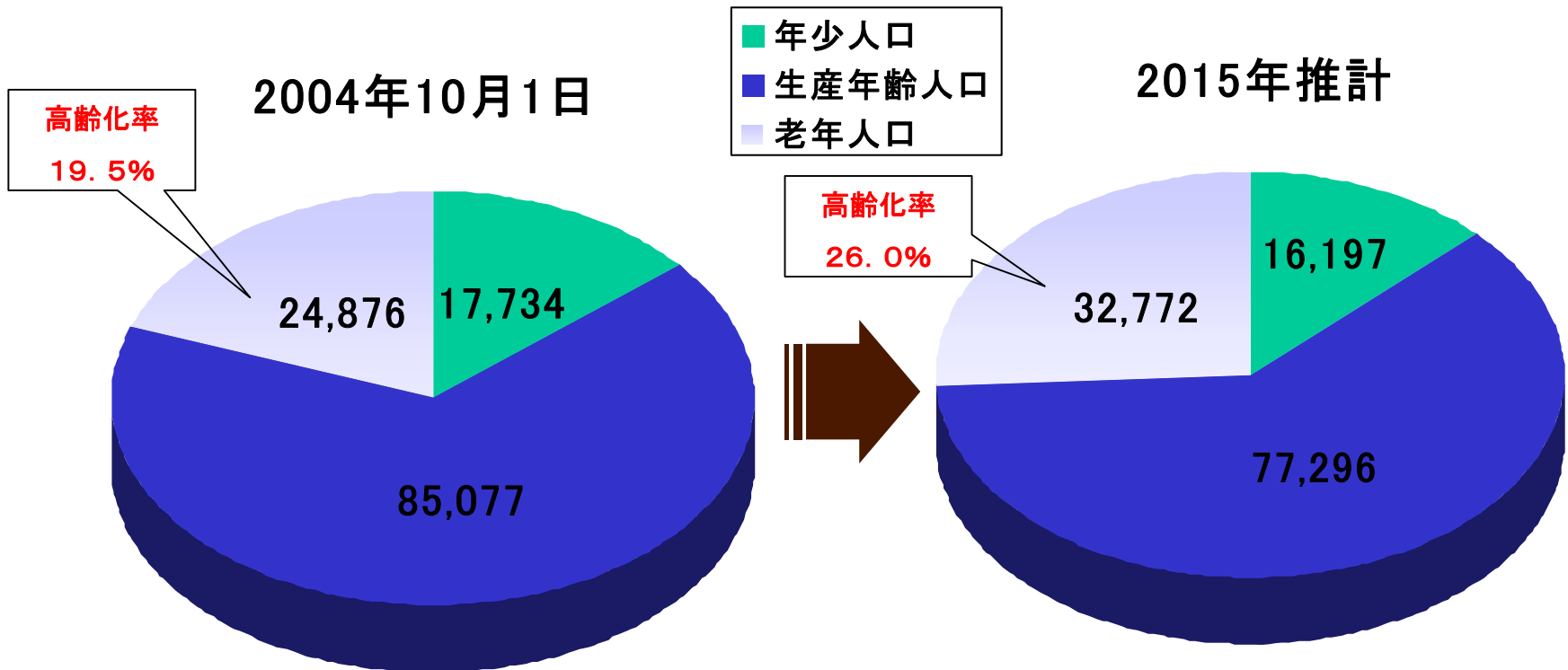
I. 2007年2月期中間決算概要

II. 介護事業の強化

III. 2007年2月期中間決算業績詳細

■ 高齢化の進展

◆人口に占める老年人口比率は26%まで上昇

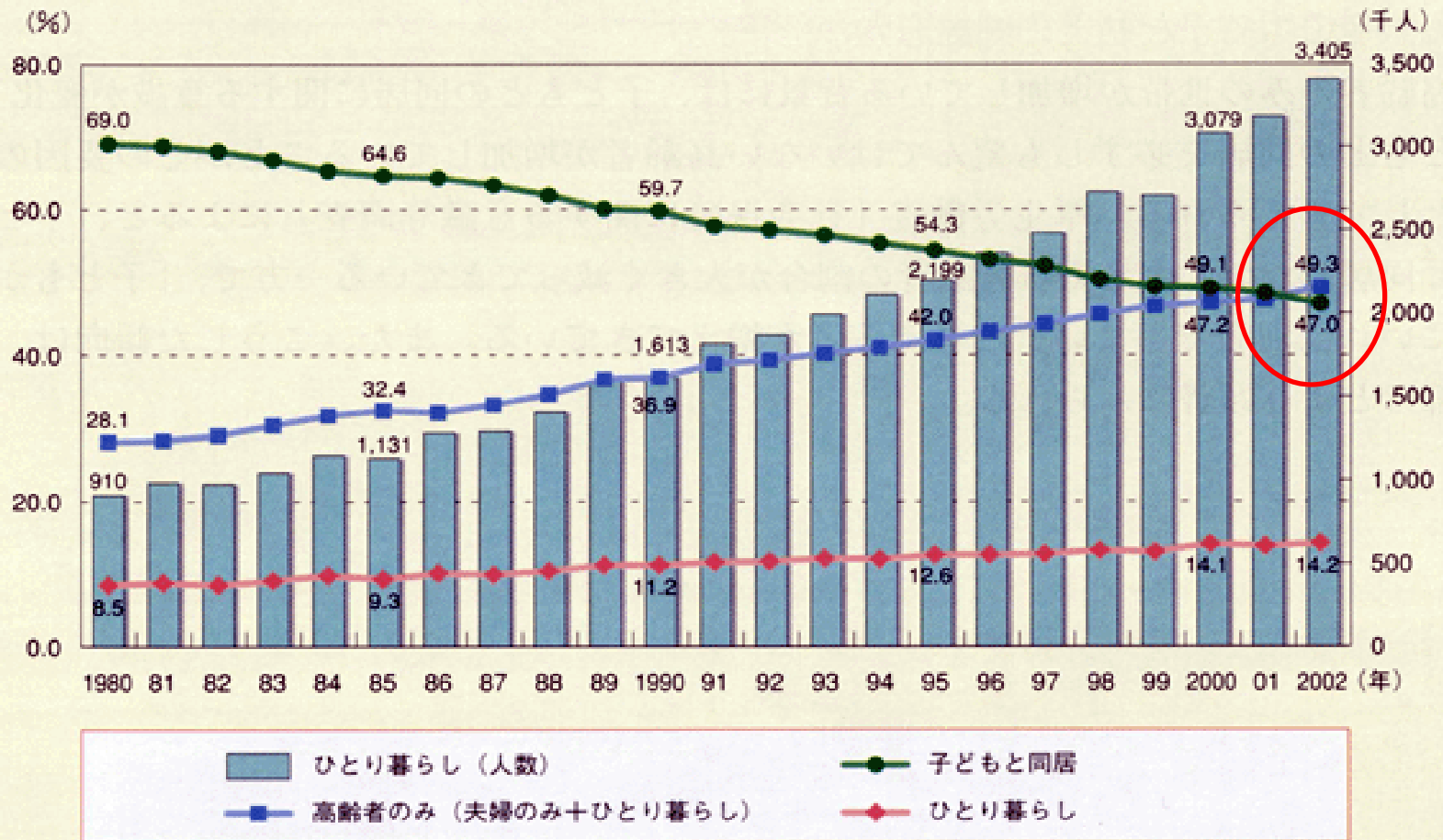


(単位:千人)

(出所:総務省統計局および国立社会保障・人口問題研究所)

■ 高齢者世帯数の増加

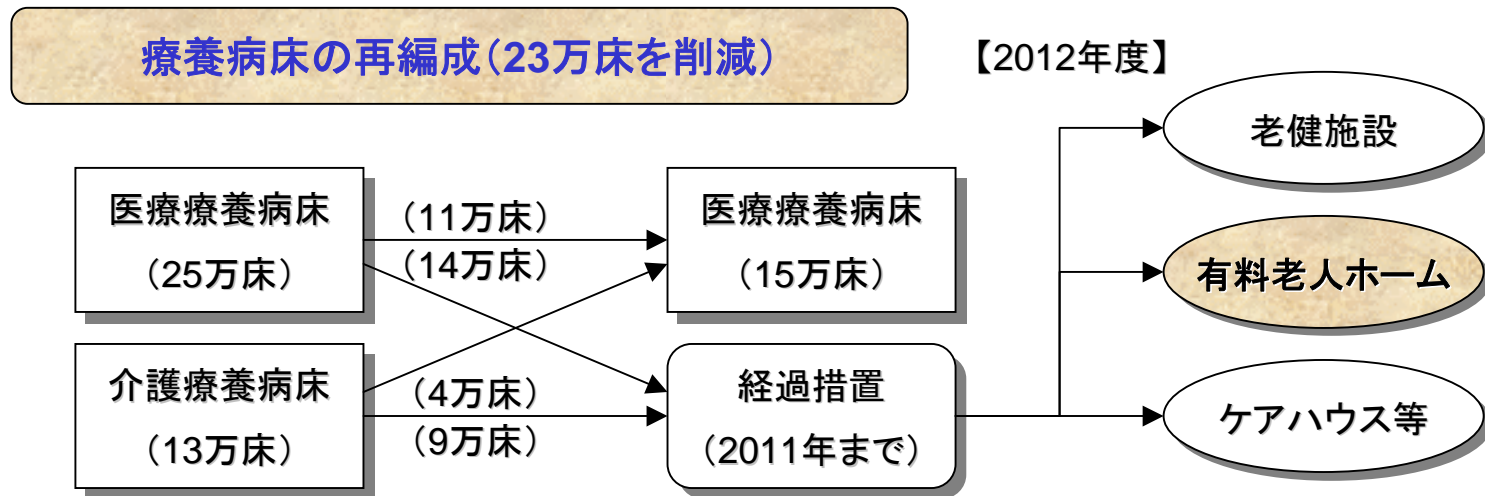
図表1-1-2 高齢者の子どもとの同居状況（年次推移）



資料：厚生労働省大臣官房統計情報部「厚生行政基礎調査」（1985年以前）および「国民生活基礎調査」（1986年以降）

療養病床の再編

◆受け皿となる介護施設の需要が増加



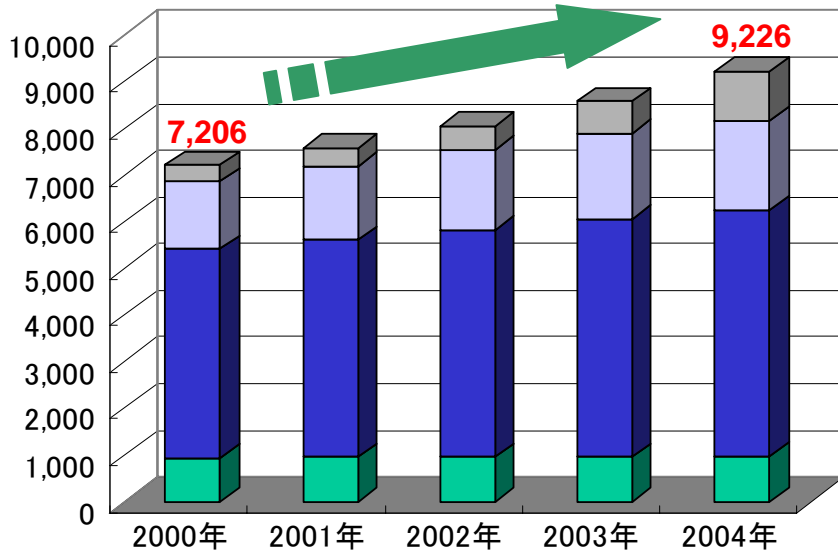
株式会社ヘルスケア一光 (100%子会社)

- 介護付有料老人ホーム等の開発に着手
- 医療機関とのネットワークを活用して、医療サービスと介護サービスの融合を目指す

老人ホーム施設数・定員の推移

◆ 4年間で施設数が28.0%、定員数は26.6%増加

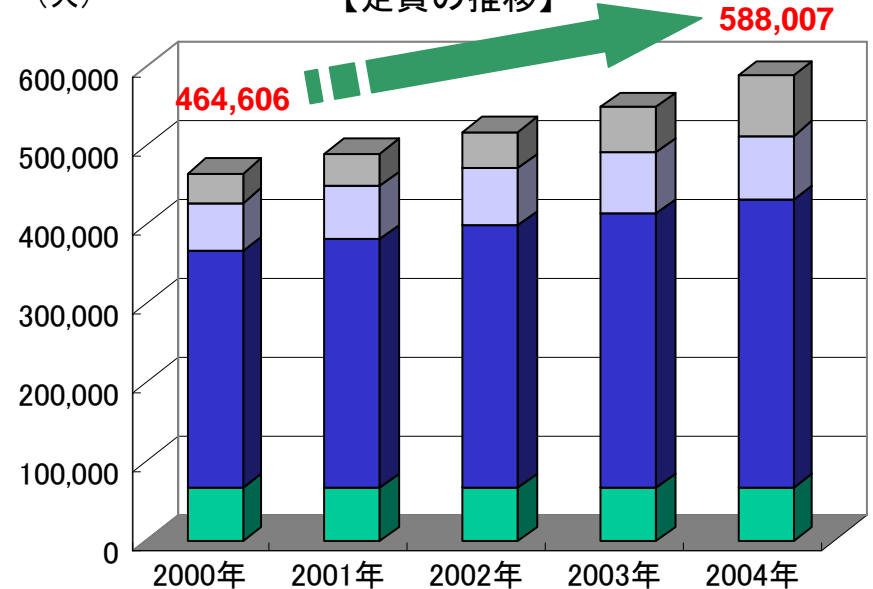
【施設数の推移】



■ 養護老人ホーム ■ 特別養護老人ホーム
■ 軽費老人ホーム ■ 有料老人ホーム

(人)

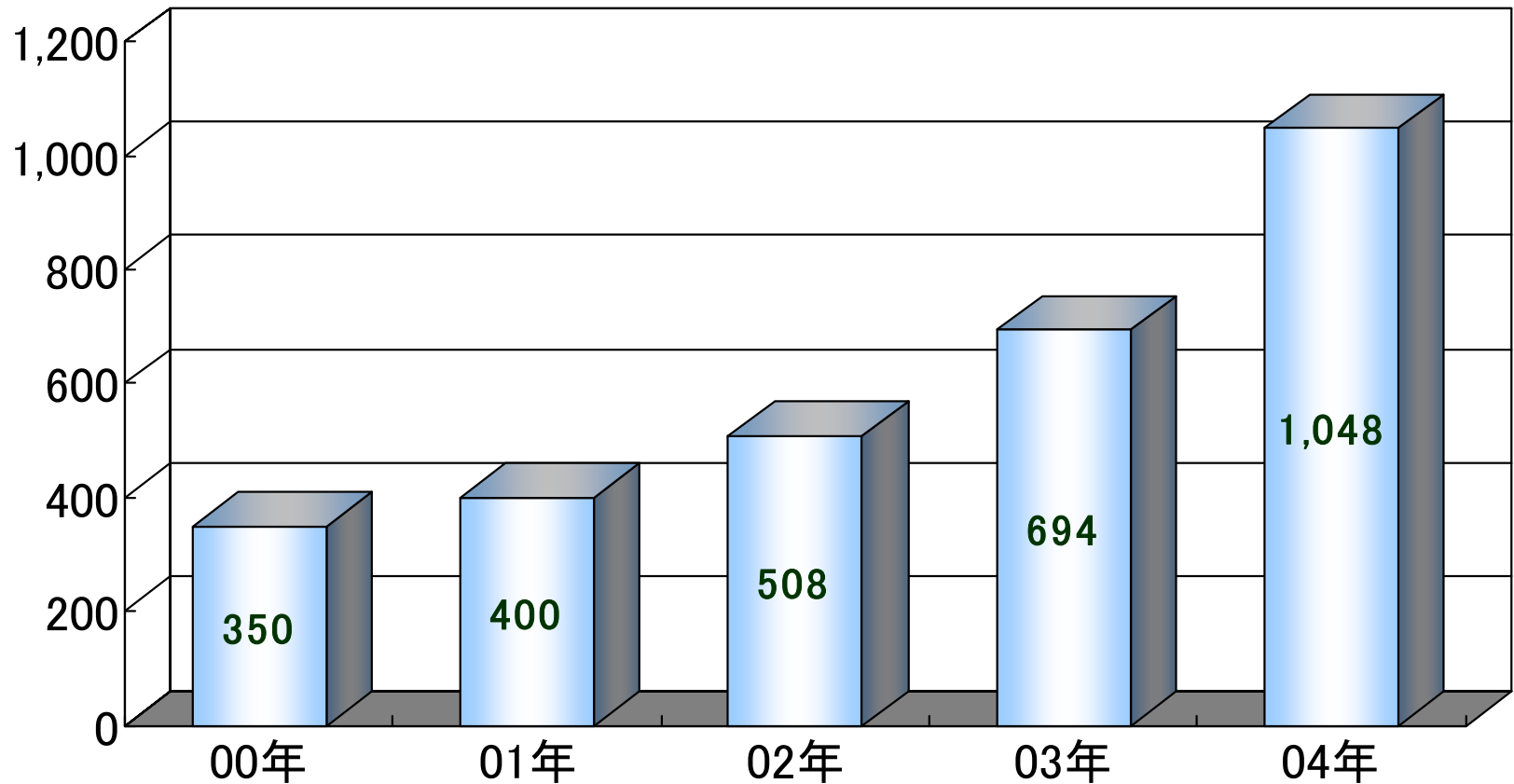
【定員の推移】



■ 養護老人ホーム ■ 特別養護老人ホーム
■ 軽費老人ホーム ■ 有料老人ホーム

■ 有料老人ホーム施設数の増加

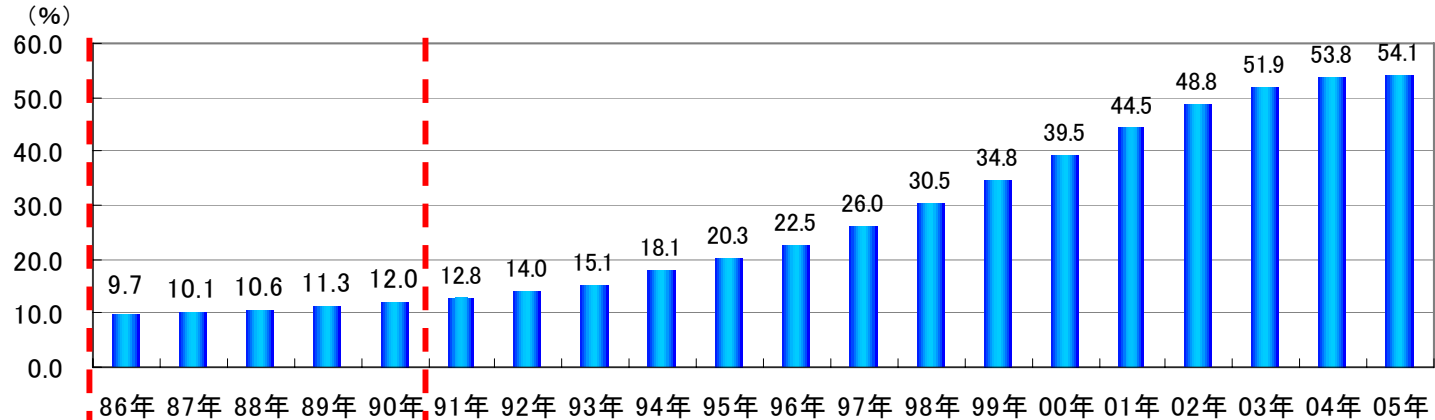
◆ 介護保険制度導入後、5年間で3倍に増加



(出所:厚生労働省)

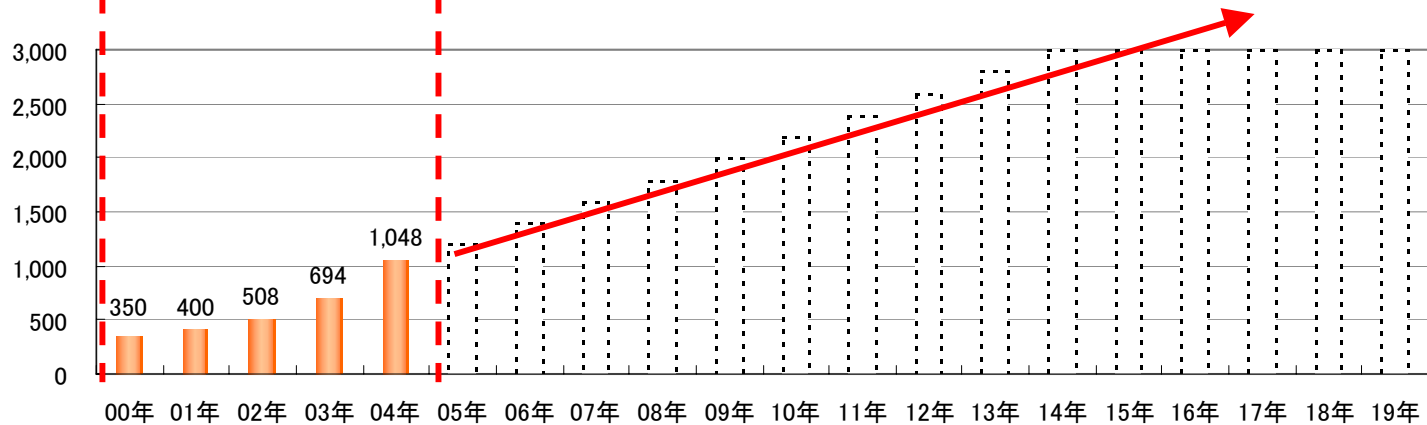
■ 有料老人ホーム市場は黎明期

医薬分業率の推移



有料老人ホーム施設数の推移

(出所: 日本薬剤師会)



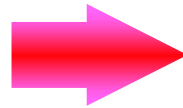
(出所: 厚生労働省 2000年~2004年)

■ 介護事業の強化

◆ 競合に強い高齢者住宅の開発

高齢者住宅の将来展望

- 供給戸数の増加
- 入居者ニーズの多様化
- 医療法人の参入による競争激化



入居希望者の望む

医・食・住・遊

の提供が必要

当社の戦略

- 医療と介護の連携により、医療依存度の高い高齢者でも入居可能
- 安全かつ美味しい食事と快適な住空間を提供

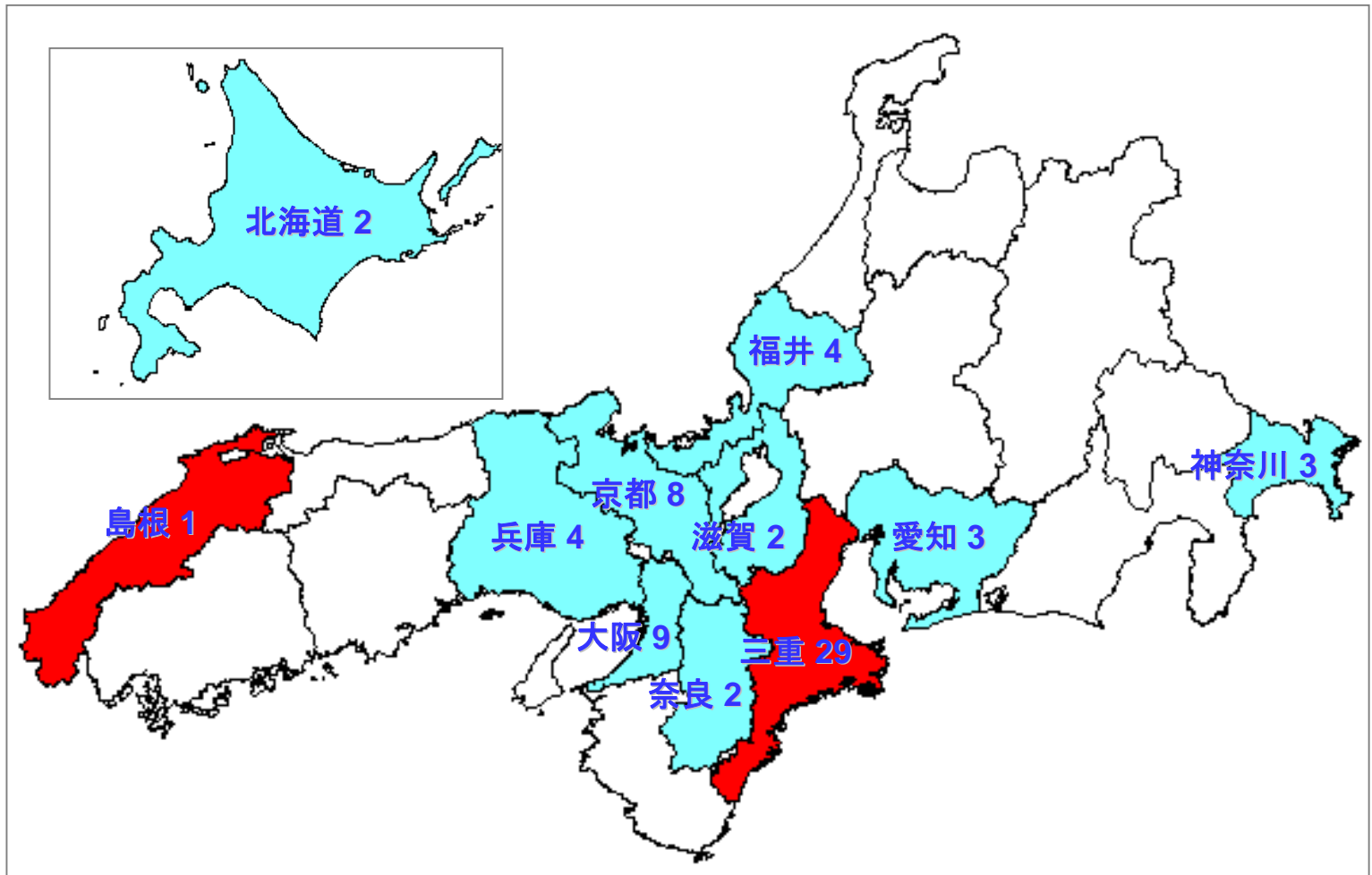
■ 介護事業の本格稼働

◆ 高齢者施設 3年で10施設の開設を計画

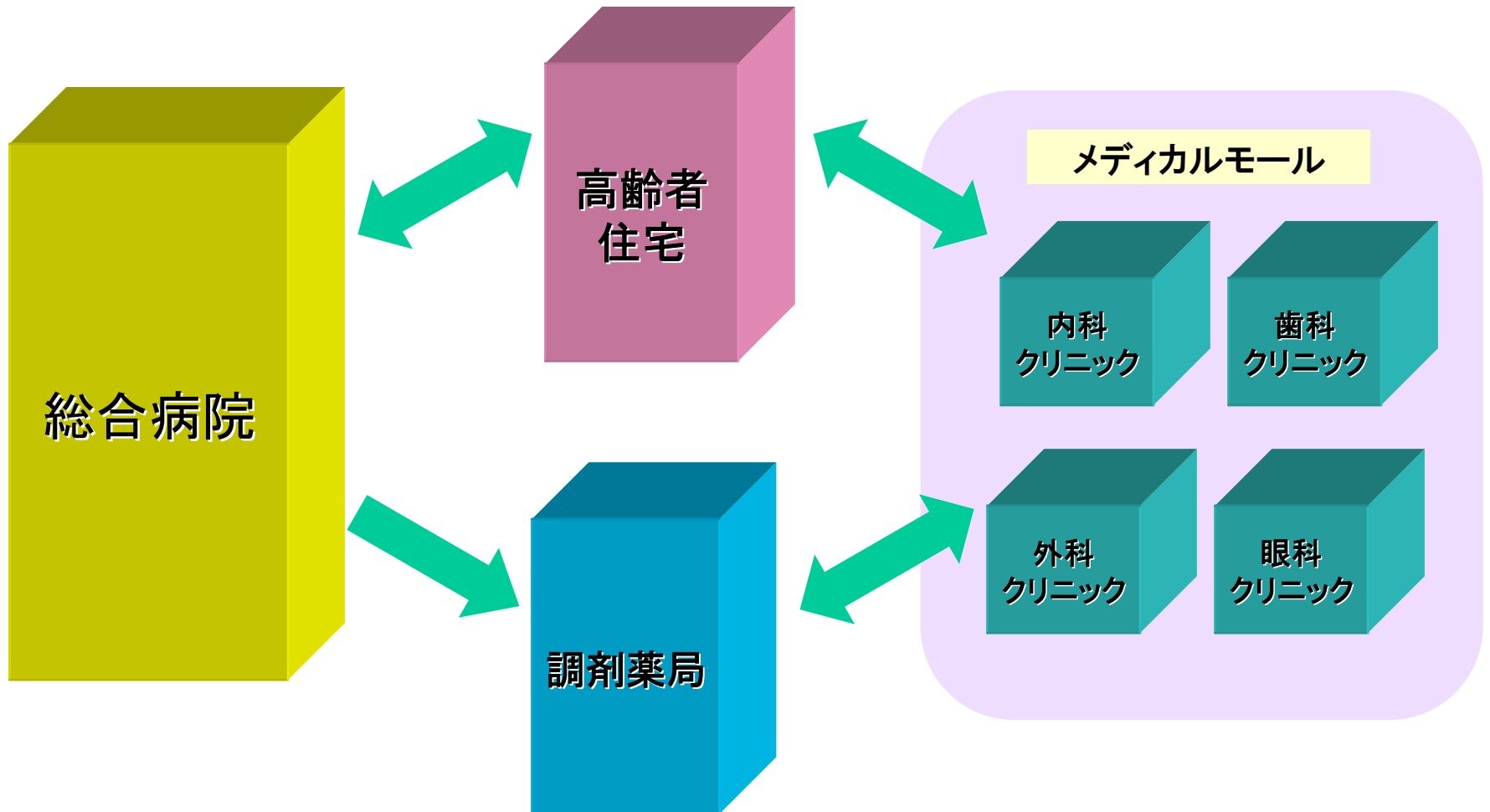
年度	所在地	形態
平成19年度	三重県津市 島根県 島根県	有料老人ホーム 介護付高齢者住宅 介護付有料老人ホーム 3施設
平成20年度	三重県および関西・中部地区	有料老人ホーム または 高齢者専用賃貸住宅 3施設
平成21年度	島根県および関西・中部地区	有料老人ホーム または 高齢者専用賃貸住宅 4施設

■ グループネットワーク

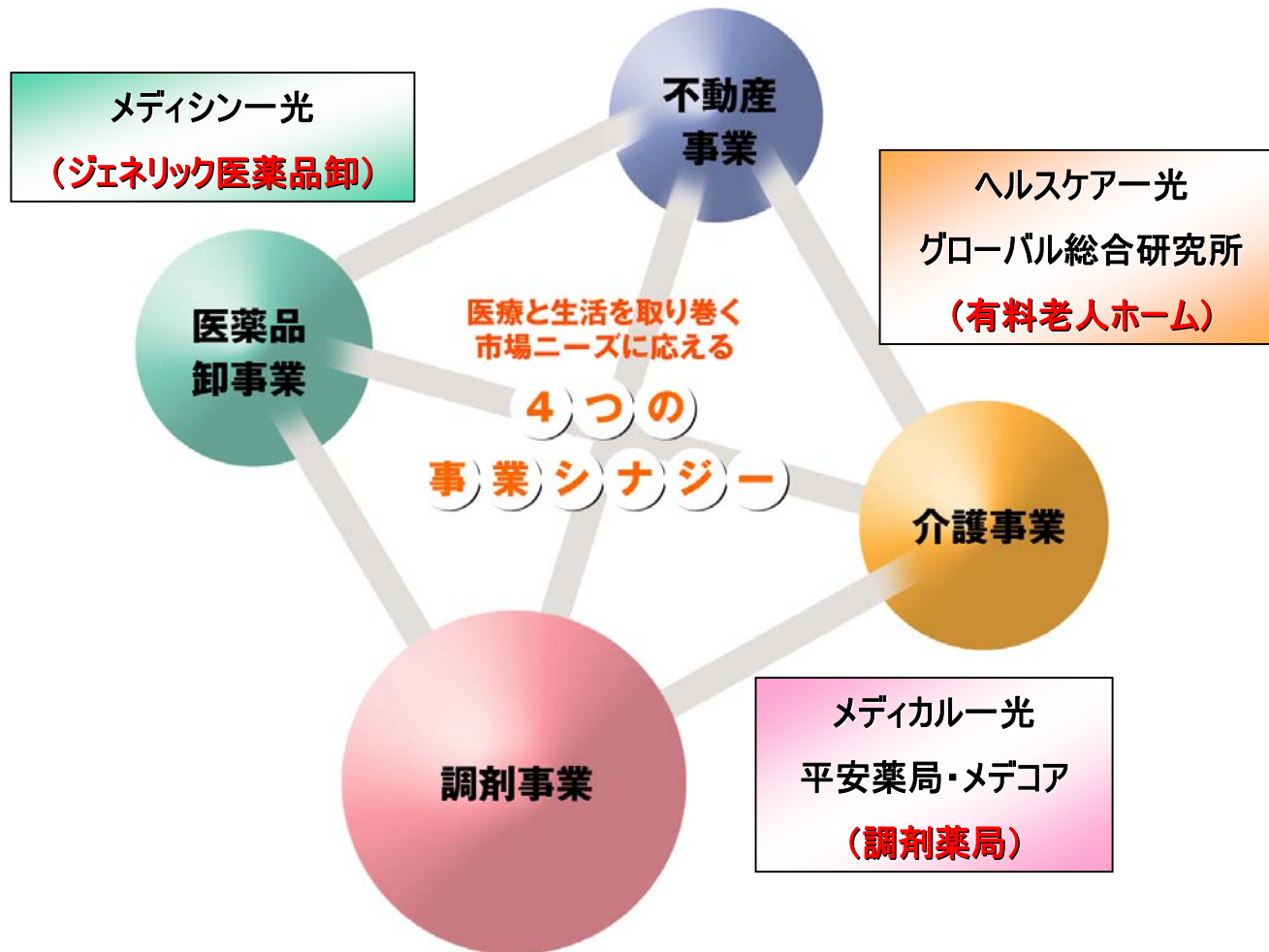
- 有料老人ホーム・高齢者専用賃貸住宅 開設予定地
- 調剤薬局出店地域



■ 当社が目指す医療ビジネスモデル



■ 新たなビジネスモデルの構築



I. 2007年2月期中間決算概要

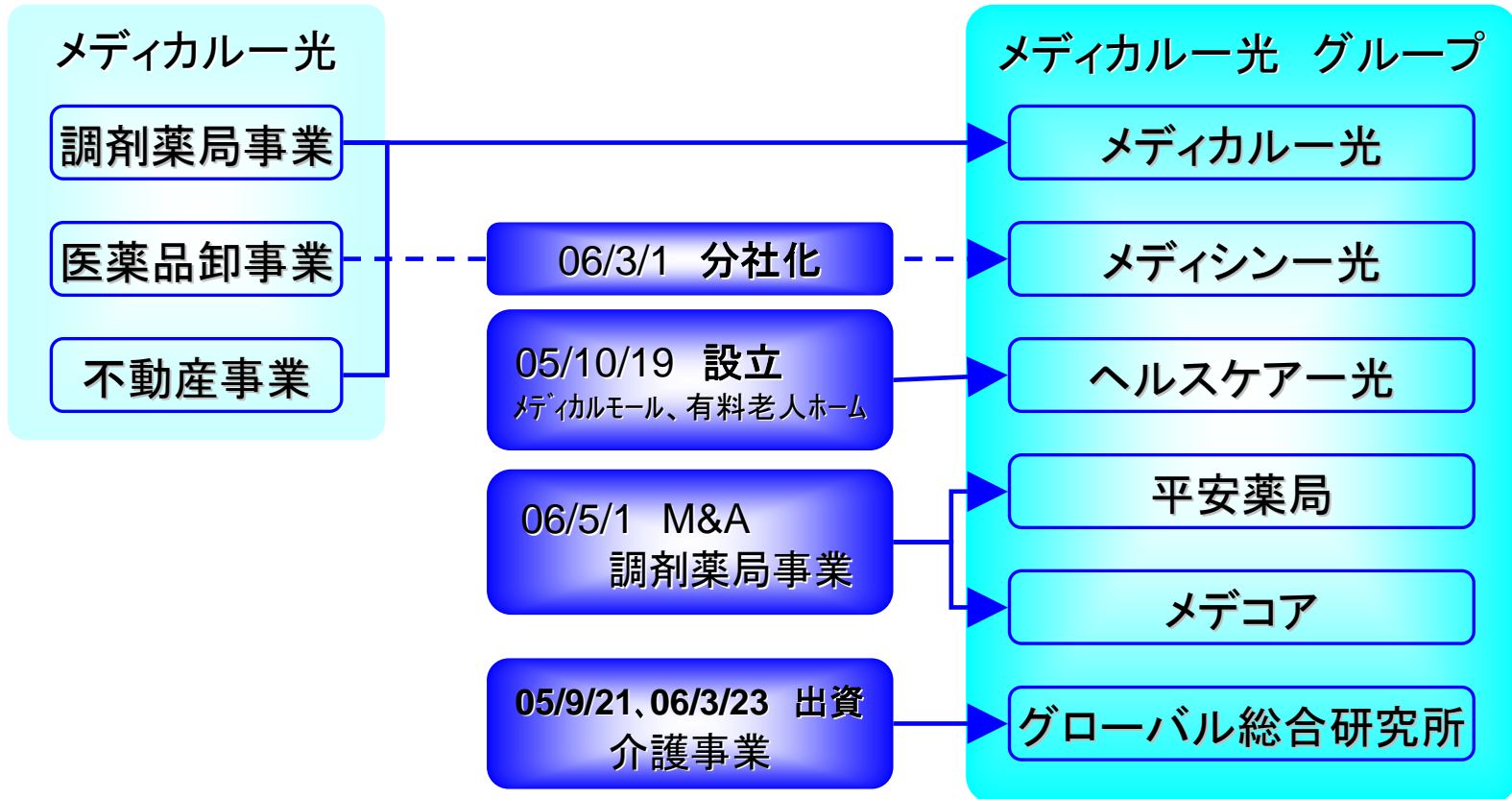
II. 介護事業の強化

III. 2007年2月期中間決算業績詳細

■ 2007年2月期の特徴⇒連結決算

06年2月期
単体決算

07年2月期
連結決算



2007年2月期 中間決算ハイライト(連結) 株式会社メディカル一光

◆ 単体決算から連結決算へ(子会社 4社、関連会社1社)

- 調剤6店舗増加(新店3店舗・M&A3店舗)、売上は前期比14.1%の増収
- 薬価差益の影響を折り込み、経常利益は前期比減益(計画比はプラス) (単位:枚・百万円)

	05年8月中間期		06年8月中間期		前期比		計画比	
	実績	構成比	実績	構成比	増減額	増減率	増減額	増減率
処方箋枚数		644,998		722,426	+77,428	+12.0%	△17,920	△2.4%
売上高	5,190	100.0%	5,926	100.0%	+736	+14.1%	△64	△1.0%
売上原価	4,654	89.7%	5,399	91.1%	+745	+16.0%	△111	△2.0%
売上総利益	536	10.3%	527	8.8%	△9	△1.7%	+45	+9.3%
販管費	327	6.3%	338	5.7%	+11	+3.3%	△27	△7.3%
営業利益	208	4.0%	188	3.1%	△20	△9.6%	+72	+62.0%
経常利益	181	3.4%	150	2.5%	△31	△17.1%	+62	+70.4%
中間純利益	72	1.3%	△11	-	△83	-	+53	-

注1) 05年8月中間期は非連結決算

注2) 平安薬局、メデコアは5月以降4ヶ月間を連結算入(06年5月子会社取得)

注3) 減損会計は当中間期で当初計画通り一括適用(減損処理額 126百万)

■ 要因分析

1. 調剤薬局事業～ 上期6店舗増加し67店舗

(1) 新店舗

- ① 新規3店舗開設 ・ 大阪1、福井1、名古屋1
- ② M&Aにて3店舗 ・ 神奈川県小田原3

(2) 薬価改正の影響

- ① 薬価改正△6.7%の影響により売上総利益率低下
(薬剤仕入価格については暫定値)

2. 不動産事業～ 遊休地にビジネスホテル建設中

(1) ルートインジャパン(株)に一括賃貸(19年2月より)

- ① 総投資額380百万円 ② 年間賃料38百万円

3. メディシン一光

(1) 後発医薬品の使用促進策により23%の増収

4. ヘルスケア一光

(1) メディカルモール事業の立上 ～18年11月より

(2) 有料老人ホーム事業への参入準備 ～来期より開始

2007年2月期 中間決算概要(単体)

◆ 薬価差益の影響等で減益、販管費率は0.7%低下

- 売上増加要因として、06.2期及び07.2期出店店舗が寄与
- 経常利益は、計画比 +43百万円(販管費等の減少によるもの)

(単位:百万円)

	05年8月中間期		06年8月中間期		前期比		計画比	
	実績	構成比	実績	構成比	増減額	増減率	増減額	増減率
売上高	4,985	100.0%	5,341	100.0%	+356	+7.1%	△89	△1.6%
売上原価	4,496	90.1%	4,935	92.3%	+439	+9.7%	△119	△2.3%
売上総利益	489	9.8%	405	7.6%	△84	△17.1%	+21	+5.4%
販管費	287	5.7%	268	5.0%	△19	△6.6%	△26	△8.8%
営業利益	201	4.0%	136	2.5%	△65	△32.3%	+47	+52.8%
経常利益	174	3.3%	106	2.0%	△68	△39.0%	+43	+68.2%
中間純利益	65	1.3%	△30	-	△95	-	+39	-

注(1). 05年8月中間期実績から医薬品卸部門の計数は除いております。

注(2). 中間期で126百万円の減損処理を実施

■ 事業部門別業績(連結)

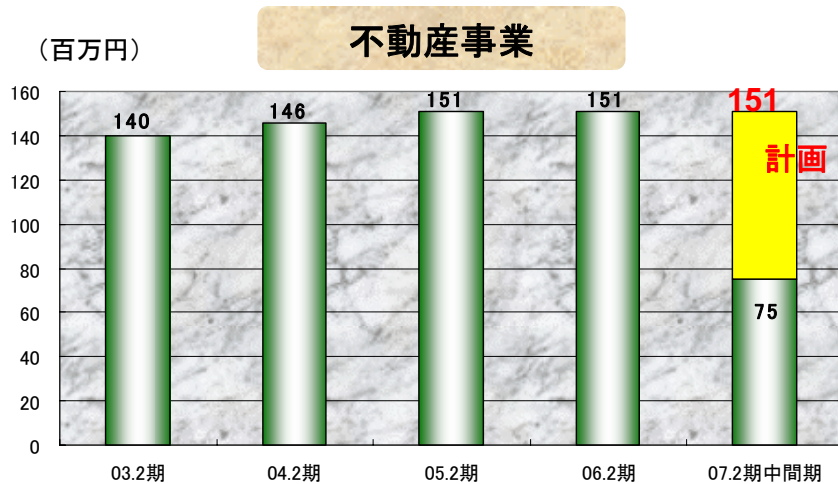
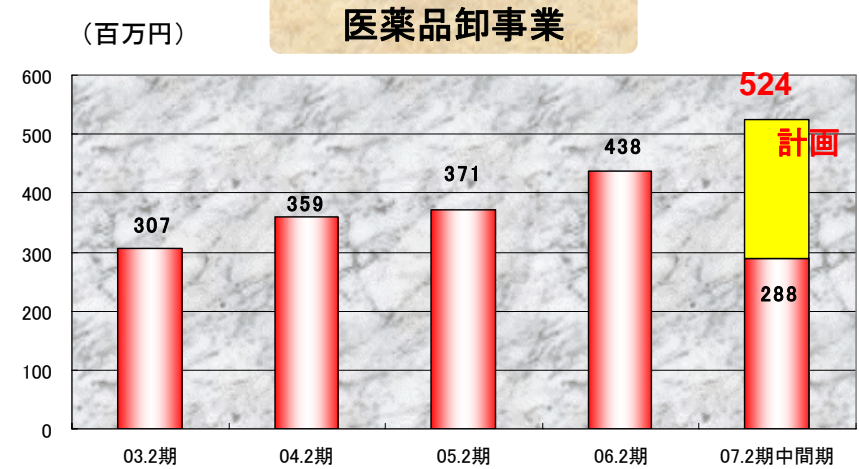
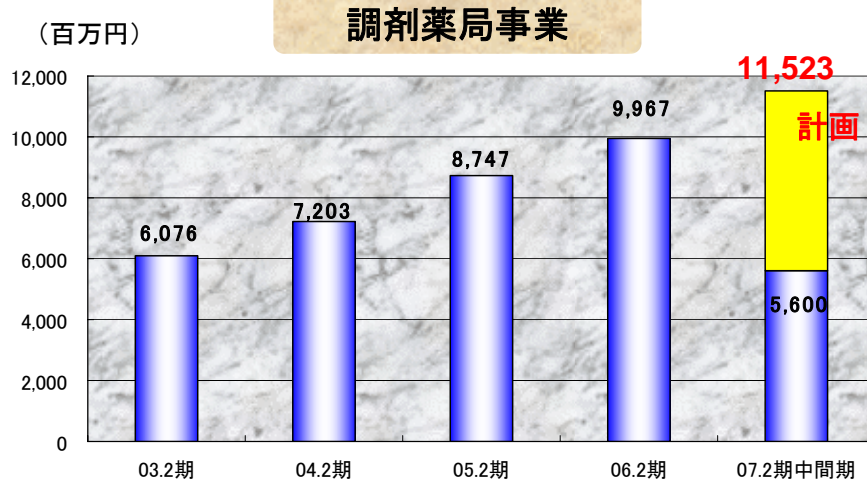
◆ 調剤事業・医薬品卸事業が寄与し 14.1%の増収

- 調剤事業は、新店及びM&Aの店舗の増加が加わり増加
- 売上総利益は、薬価差益の影響を受け減少

(単位:百万円)

	05年8月中間期		06年8月中間期		前期比		計画比	
	実績	構成比	実績	構成比	増減額	増減率	増減額	増減率
売上高合計	5,190	100.0%	5,926	100.0%	+736	+14.1%	△64	△1.0%
調剤事業 メディカル一光 平安薬局・メデコア	4,909	94.6%	5,600	94.5%	+691	+14.0%	△77	△1.4%
(薬剤料)	(3,675)	(74.8%)	(4,207)	(75.1%)	(+532)	(+14.5%)	(△54)	(△1.3%)
(技術料他)	(1,234)	(25.2%)	(1,393)	(24.9%)	(+159)	(+12.9%)	(△23)	△1.7%
医薬品卸事業 メディシナー光	234	4.5%	288	4.8%	+54	+23.0%	+18	+6.6%
不動産事業 他 メディカル一光 ヘルスケア一光	76	1.4%	75	1.2%	△1	△1.3%	0	0.0%
連結相殺勘定	△29	△0.5%	△37	△6.2%	+8	-	△8	-
売上総利益	536	10.3%	527	8.8%	△9	△1.7%	+45	+9.3%

■ 事業部門別業績推移(連結)



■ 調剤事業の中間期の業績(個別)

● 売上増加要因として、06.2期出店先が寄与 (単位:百万円)

開局期別 売上構成	05年8月中間期		06年8月中間期		増減	
		構成比		構成比	額	%
売上高合計	4,910	100.0%	5,266	100.0%	+356	+7.2%
既存店	4,744	96.6%	4,647	83.0%	△97	△2.0%
06.2期出店	65	1.3%	544	9.7%	+479	+736.9%
07.2期出店	--	--	75	1.3%	+75	--
閉局店	101	2.1%	--	--	△101	--

<増減>

①既存店売上は、2%

減少

②新規店舗の売上

+619百万円

③前期の閉局3店舗

売上原価 内訳	05年8月中間期		06年8月中間期		増減	
		構成比		構成比	額	%
売上原価合計	4,482	91.3%	4,914	92.8%	+432	+10.2%
(材料費)	3,322	67.7%	3,659	69.5%	+337	+10.1%
単純粗利合計	1,588	100.0%	1,607	100.0%	+19	+1.2%
(労務費)	846	53.3%	887	55.2%	+41	+4.8%
(設備・その他)	314	19.8%	368	22.9%	+54	+17.2%
売上総利益	428	8.7%	352	7.2%	△76	△17.8%

<増減>

①売上原価率 1.5P上昇

②材料費率 1.8P上昇

③新規店舗経費

215百万

～新店舗への投資先行
(売上総利益△56百万)

⇒下期は+8百万に改善

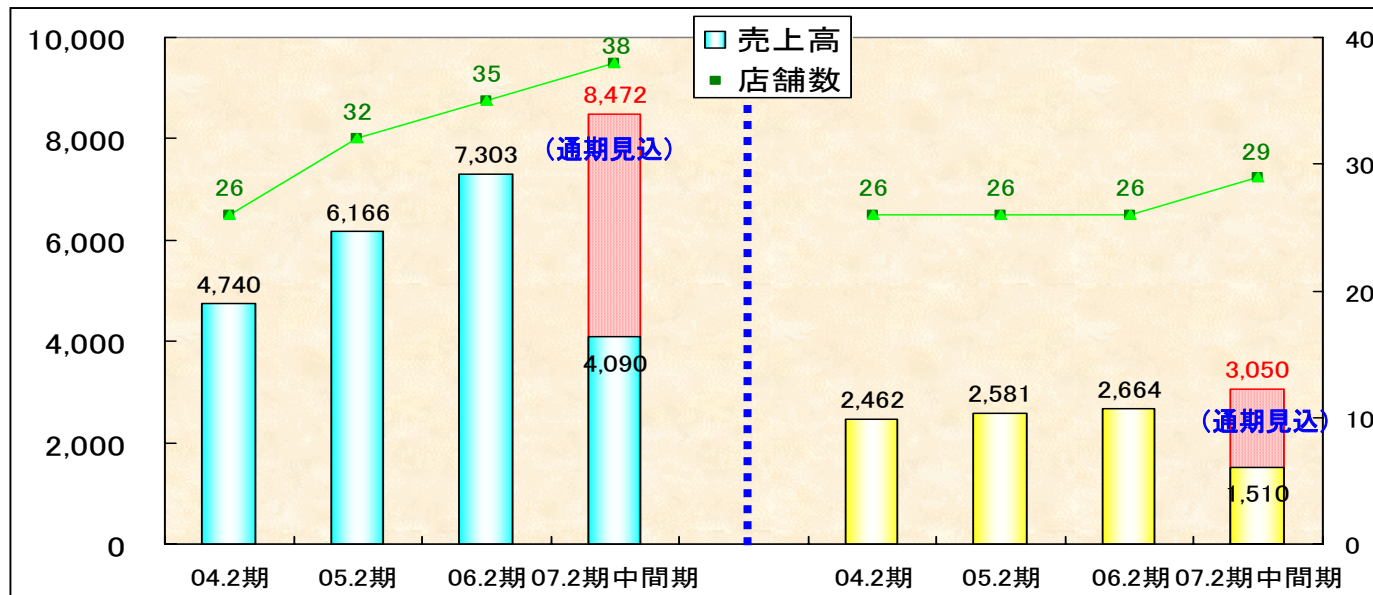
■ 新規出店及び店舗規模別売上高(連結)

株式会社 **メディカル一光**

◆ 店舗数6店舗増加 (M&Aにて3店舗取得)

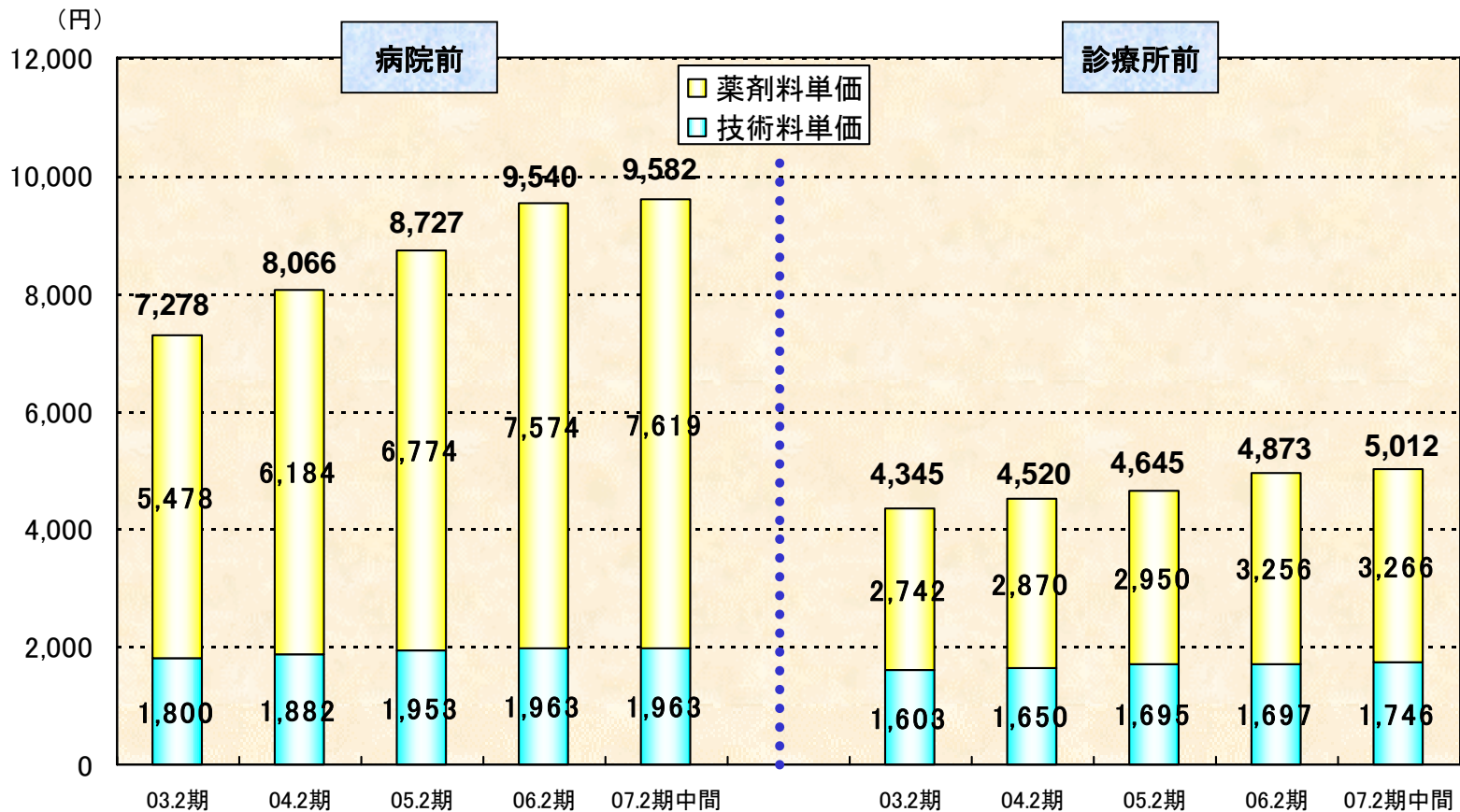
	06.2月末	07.2月期(中間)		06.8月末
	店舗数	出店	M&A	店舗数
病院	35	2	1	38
診療所(20床未満)	26	1	2	29
計	61	3	3	67

(百万円)



■ 店舗規模別 処方箋単価

◆ 調剤報酬改定・薬価改正の影響等により変化



■ B.S(連結)

◆ 今期より連結BS(子会社4社含む)。減損処理 126百万。

(単位:百万円)

	06年2月期		06年8月中間期		増減額	
		構成比		構成比		
流動資産	2,506	38.2%	3,229	39.3%	+723	<ul style="list-style-type: none"> ・投資資金確保 ・売上増加による ・メディカルモール+56 ・ビジネスホテル +95 ・減損処理 △126
現預金	774	11.4%	1,189	14.5%	+415	
売掛金	1,143	16.9%	1,402	17.1%	+259	
その他	589	9.9%	638	7.8%	+49	
固定資産	4,216	61.8%	4,979	60.7%	+763	<ul style="list-style-type: none"> ・M&Aのれん + 568 ・グローバル総研株+55 ・買掛金 + 498 ・借入金 + 1,076
有形固定資産	3,431	50.2%	3,461	42.2%	+30	
無形固定資産	67	0.8%	641	7.8%	+574	
その他	718	10.8%	877	10.7%	+159	
資産合計	6,722	100.0%	8,208	100.0%	+1,486	<ul style="list-style-type: none"> ・減損処理 △ 126
負債合計	4,577	68.1%	6,101	74.3%	+1,524	
流動負債	2,734	40.7%	3,400	41.4%	+666	
固定負債	1,843	27.4%	2,701	32.9%	+858	
株主資本計	2,145	31.9%	2,107	25.7%	△38	
負債・資本合計	6,722	100.0%	8,208	100.0%	+1,486	

C/F(連結)

◆M&Aを含む投資を実行 (年間投資額 13億円)

(単位:百万円)

	06年2月期 (中間)	07年2月期 (中間)	増減額
営業活動による キャッシュフロー	468	259	△209
投資活動による キャッシュフロー	△174	△898	△724
財務活動による キャッシュフロー	△344	1,042	+1,386
現金等の増加額	△50	403	+453
現金等の期首残高	1,199	785	△414
現金等の期末残高	1,148	1,189	+41

当期の変動要因

<営業C/F>

- ①売掛/買掛債権 +211
- ②償却前利益 +77
- ③法人税支払 △103

<投資C/F>

- ①新規連結子会社+594
- ②固定資産の取得+205

<財務C/F>

- ①長期借入金増 +1,128
- ②短期借入減少 △50

■ 22期 年間計画の修正について

- 調剤事業の下期計画を、直近計数に置き換え、予算修正
- 役員退職金廃止により、従前分を特別損失に計上

<22期下期予算の修正>

(単位:百万円)

	07年2月期		07年2月期		増 減	
	当初計画	構成比	修正計画	構成比	金額	率
売 上	12,700	100.0%	12,200	100.0%	△500	△3.9%
売上原価	11,556	91.2%	11,122	91.2%	△434	△3.8%
売上総利益	1,144	9.0%	1,079	8.8%	△65	△5.7%
販 管 費	739	5.8%	708	5.8%	△31	△4.2%
営業利益	404	3.1%	370	3.0%	△34	△8.4%
経常利益	380	2.9%	344	2.8%	△36	△9.4%
当期純利益	125	0.9%	89	0.7%	△36	△28.8%

①.調剤売上 △500
 ~調剤売上を、足元に
 合わせ店舗別に計画
 変更。

②.売上総利益 △65
 ~新規店舗の初期の
 経費増。期の後半で
 の黒字化に変更。

③.販管費 △31
 ~のれん償却 +30

④.営業利益 △34
 ~間接部門の経費削減

⑤.当期純利益
 ・役員退職金特損△28

2007年2月期計画 前年比較(連結)

- 売上増加要因として、06.2期及び07.2期出店店舗が寄与
- 売上総利益の減少及び、減損会計処理等を折り込み (単位:百万円・枚)

	07年2月期/上期		07年2月期/下期		07年2月期年間		前年比較	
	実績	構成比	計画	構成比	修正計画	構成比	金額・枚	率
処方箋枚数	722,426	.---	751,270	.---	1,473,696	.---	+171,732	+13.2%
売上高	5,926	100.0%	6,274	100.0%	12,200	100.0%	+1,643	+15.6%
売上原価	5,399	91.1%	5,723	91.2%	11,122	91.2%	+1,632	+17.1%
売上総利益	527	8.9%	552	8.8%	1,079	8.8%	+12	+2.1%
販管費	338	5.7%	370	5.9%	708	5.8%	+58	+10.4%
営業利益	188	3.2%	182	2.9%	370	3.0%	△47	△11.3%
経常利益	150	2.5%	194	3.1%	344	2.8%	△22	△6.0%
当期純利益	△11	0.2%	100	1.6%	89	0.7%	△87	△49.4%

＜売上高＞
①.M&A 寄与 +794

＜売上総利益＞
①.利益率の低下

＜販管費＞
①.のれん償却 +30
②.子会社販管費 +28

＜営業利益＞
①.売上総利益の減少

＜当期利益＞
①.減損・役退引当

注) 平安薬局、メデコアは5月以降10ヶ月間を連結算入(06年5月子会社取得)

2007年2月期 事業戦略・投資案件

株式会社 **メディカル一光**

◆ 事業戦略



◆ 投資案件

07年2月期 (年間)

(単位:百万円)

	上期 実績	下期 計画	合計
【調剤事業】 新規出店3店舗 M&A3店舗	741	0	741
【メディカルモール事業】 2診療所 オープン	48	52	100
【有料老人ホーム事業】 1号店計画スタート グローバル総研出資	55	10	65
【不動産事業】 ビジネスホテル賃貸 他賃貸物件補修等	95	300	395
合計	939	318	1,301

■ 2008年2月期 業績影響

◆ 2007年の投資の収益実現と新規事業の開始

(1) 調剤薬局事業

- ① 処方箋応需枚数の減少は続くものと予想
- ② 薬剤仕入価格の決着状況により業績が変化
- ③ 新規店舗(06年、07年)の開設店舗が業績寄与

新規店舗(06年、07年)の翌年計画

(単位:百万円)

	07/2期見通し			08/2期	
	(上期)	(下期)	通期	通期計画	前期比
売上高	618	835	1453	1,820	+367
売上総利益	△56	8	△48	50	+98

(2) 不動産事業

- ① 07年2月からビジネスホテル一括賃貸開始
・投資額 380百万円 (年間家賃 38百万円)

(3) 新規事業(ヘルスケア一光)

- ① メディカルモールの開業
- ② 介護事業(有料老人ホーム)への事業進出

■ 問い合わせ先

株式会社メディカル一光 IR担当

電話：059-226-1193(代表)

FAX：059-227-6107

E-mail：ir@m-ikkou.co.jp

URL：<http://www.m-ikkou.co.jp>

本資料は、業績の進捗状況の参考となる情報提供を目的としたものであり、投資等の最終決定は投資家ご自身の判断でなさるようお願いいたします。また本資料を判断材料とした投資の結果等に対する責任は負いかねますのでご了承ください。

本資料中の予想または計画は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後の経済情勢や政策動向など、様々な要因によって予想または計画数値と異なる場合があります。